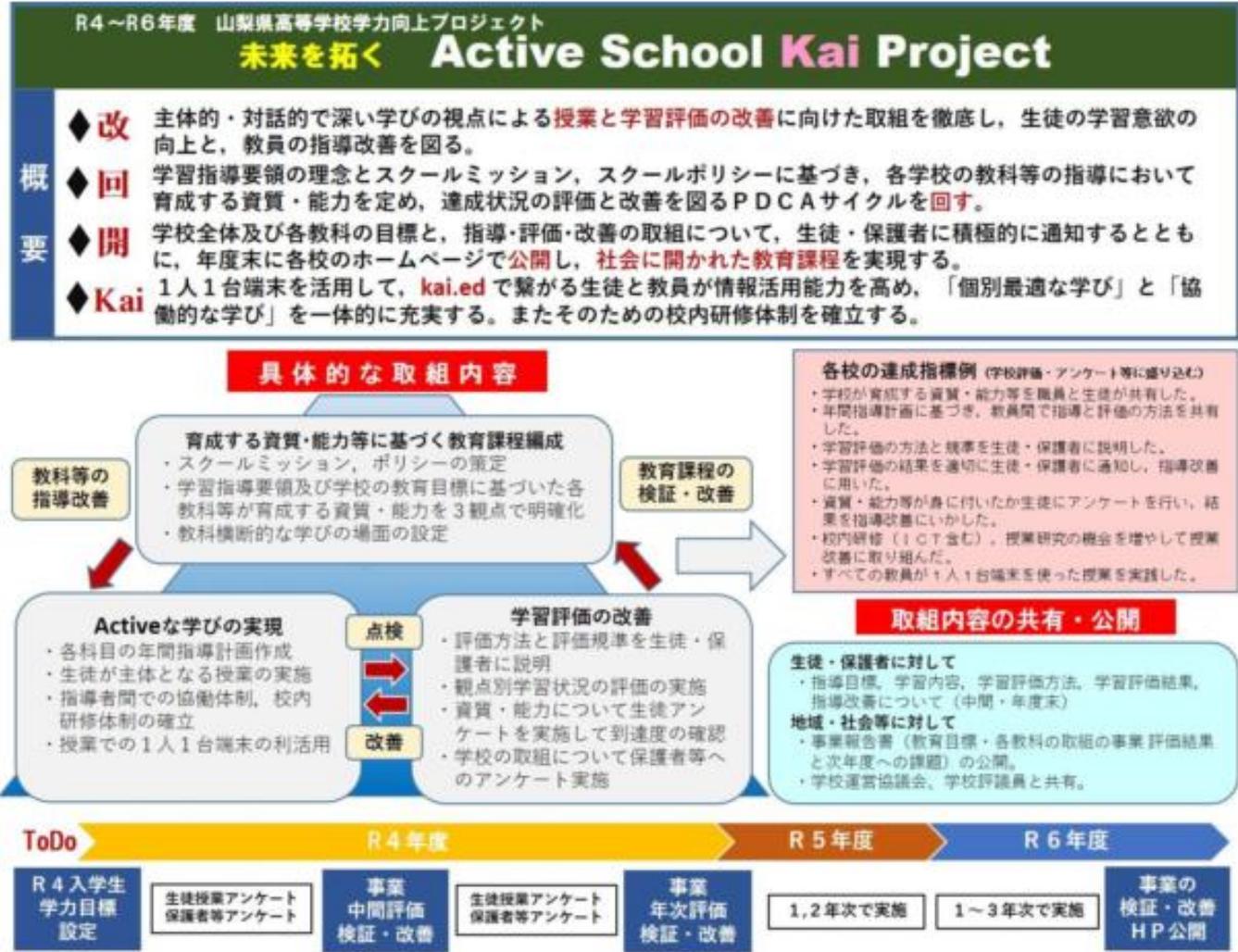


# ＜事業概要＞

R4年度入学生から新学習指導要領が実施となり、学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの一環として、「指導と評価の一体化」を進めていくことが求められています。また、教育課程を家庭や地域社会と共有する「社会に開かれた教育課程」の実現も重要課題です。これらを踏まえ、県立高等学校の教育力向上を図るプロジェクト「Active School Kai Project」を、R4年度からの3か年計画で実施しました。



# <報告書の見方>

## Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書（報告書）

学校番号	学校名	学年	在籍生徒数	名
全・定・通				
教育目標 (学力に関するもの)	各学校における卒業時に身に付けさせたい資質・能力です。			
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質・能力				
各教科の取組	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題
国語	知識	3.3	3.9	
		3.5	3.9	
		3.8	4.2	
地公				
数学				
理科				
英語				
芸術				
家庭				
保体				

教育目標や育てたい生徒像をふまえ、学習指導要領の理念とスクールポリシーに基づき、生徒の特性等を踏まえて、教科等の指導において育成する資質・能力を定めています。

生徒による達成度の5段階評価のアンケート結果です。年度の中間と年度末の2回実施し、その変化を見取ります。そしてこの数値を一つの材料として、授業担当の先生方の評価をふまえて、生徒の学習改善や教師の指導改善にいかすことに活用しています。目標や取組は学校ごとに異なるため、他校の数値との単純な比較はできません。

このプロジェクトを通して、各学校において授業改善が着実に実施されること、また、評価の規準、方法などの検討のなかで、教師同士の協働性が高まること、さらには、学校の教育活動の見える化につながり、生徒・保護者の安心や信頼を得ることなどの実現に寄与することを目指しています。

教科の特性から、卒業時の目標を記載し、評価は年度末のみとして各学年の生徒の達成度を確認することとしています。

【授業アンケート】高評価数値の推移（%：小数点第1位まで）	R6中間	R6年度末
授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強く思う、②そう思う		
話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた ①強く思う、②そう思う		
他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強く思う、②そう思う		
ノート等で授業の記録をすることができた ①強く思う、②そう思う		
活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた ①強く思う、②そう思う		
授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた ①強く思う、②そう思う		
家庭学習（宿題や課題）と授業を、有機的に結び付けることができた ①強く思う、②そう思う		
授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強く思う、②そう思う		
保護者アンケート結果（学力に係わるもの）		
保護者の学校評価アンケート等の結果からまとめたものです。		
授業アンケート等を踏まえた総合評価（学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む）		

生徒アンケートの結果です。